

令和7年度	橋梁補修	工事
工事番号	第 31 号	
路線名	粒ヶ谷地六戸線	
河川	粒ヶ谷川	
施工地	三戸郡五戸町大字切谷内 地内	
鋼部材補修図	縮尺 各図記入	
図面番号	19 葉中 9	
五 戸 町		
青 森 県		

10/29 粒ヶ谷 地 橋

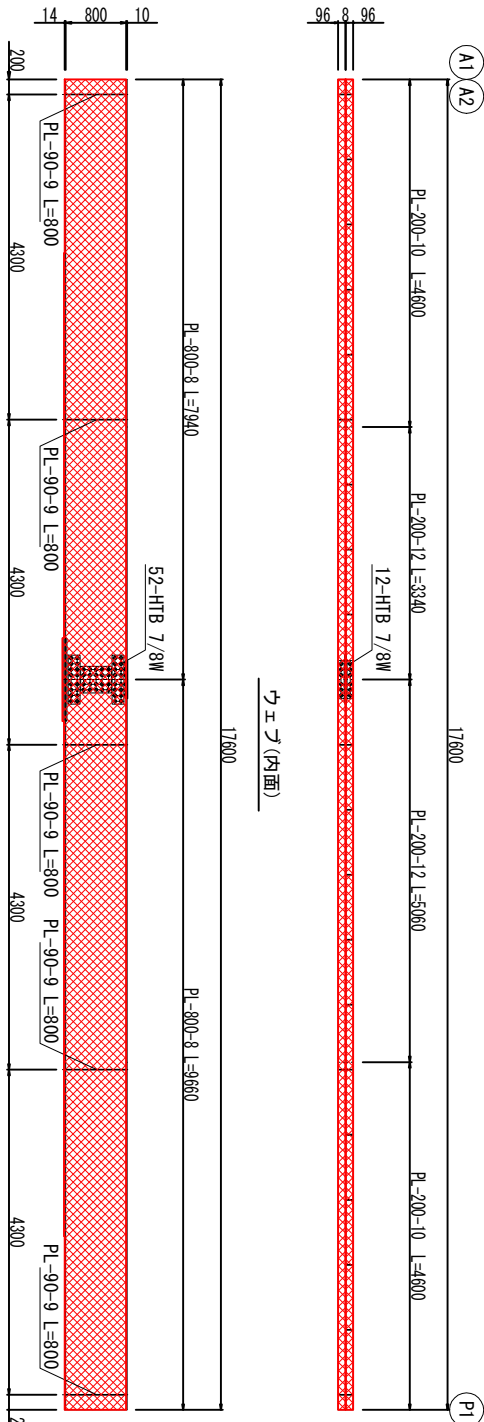
表 示	塗替塗装工

鋼 部 材 補 修 図

【塗替塗装工(主桁・横桁)】

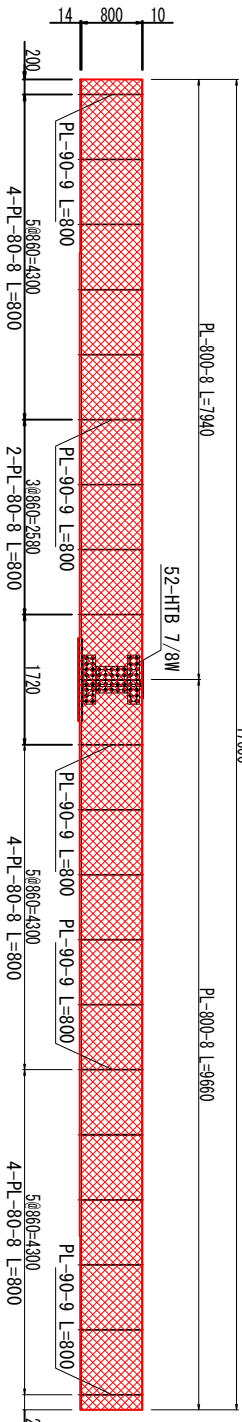
主桁展開図 S=1:50

上ランジ

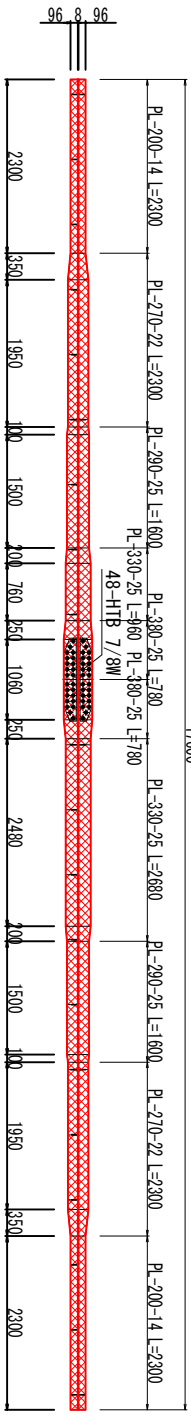


ウェブ(内面)

ウェブ(外面)



下ランジ



塗 装 仕 様

- 橋体工塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）に準拠し下表のとおりとする。
- 塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
- 湿式による剥離作業で生じた旧塗膜に関しては、周辺の土壌や河川を汚染しないように足場にシート防護を施して、その廃棄物は適切に処理を行う。
- 素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

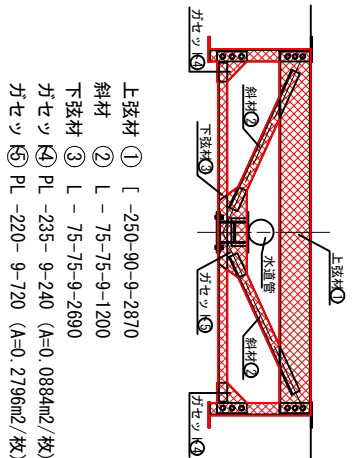
Rc-11 塗装系

塗装工種	塗 料 名	標準使用量 (g/m ²)	塗装間隔
剥離剤塗布	インバイロソ工法（案）※1	1,000 g/m ²	
素地調整	3種ケレンC		
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240 g/m ²)	4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 g/m ²	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 g/m ²	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140 g/m ²	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120 g/m ²	1日～10日

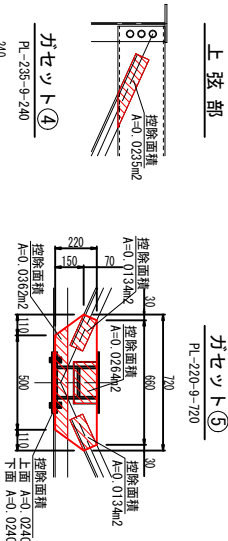
※1. 剥離剤は塗膜剥離試験を実施して選定し、塗布量や塗布回数は試験施工を実施して決定すること。

端対傾構標準図

断面図 S=1:30

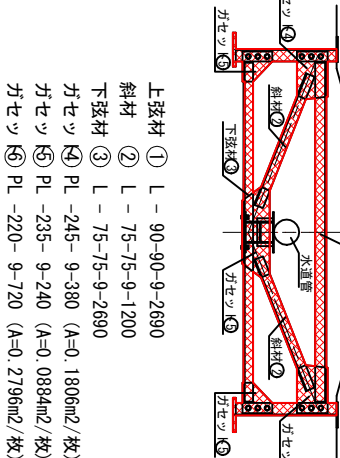


接合部詳細図 S=1:20

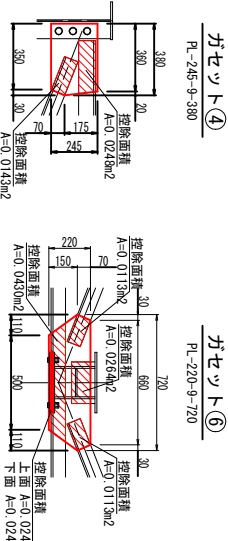


断面図 S=1:30

対傾構標準図



接合部詳細図 S=1:20

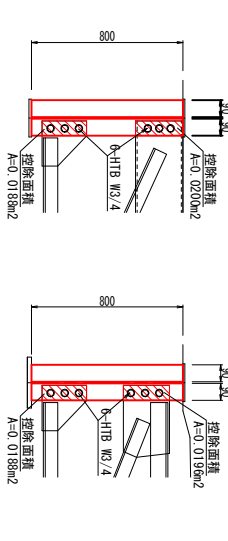


断面図 S=1:20

垂直補剛材標準図



接合部詳細図 S=1:20



エッジ部詳細図
(曲面仕上げ) NO SCALE



- 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
- 施工する際は、再度現地検測を行って寸法等を確認すること。
- 含有試験より基準値以上の鉛が検出されたため、消出試験を実施して産業廃棄物の分類を決定すること。
- 剥離作業は湿式を原則とし、剥離剤の塗布量及び塗布回数は、試験施工を実施して決定すること。